

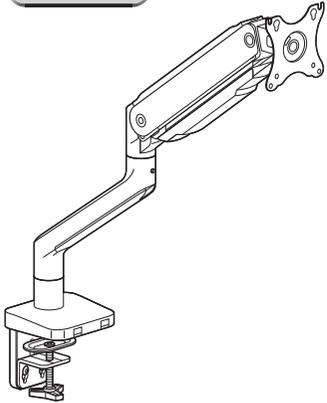
この度は、弊社製品をお求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッケージケースの中には、下記の部品が入っています。

組立説明書は組立て後も大切に保管してください。

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします）
プラスチックドライバー、電動ドリル

完成図



対応VESA取付け穴ピッチ
100×100mm
75×75mm
対応ディスプレイ：27型以下
対応ディスプレイ重量：2~13kg

▲注意▲

VESA取付け穴ピッチ75×75mmのディスプレイを取付ける場合は必ず大人2人以上で行ってください。

▲注意▲

指などを挟まないように十分ご注意ください。
組立て時のケガ等を防ぐために、手袋の着用をおすすめします。

▲注意▲

ディスプレイを取付ける時にプラスチックドライバー、毛布などが必要です。ご注意ください。

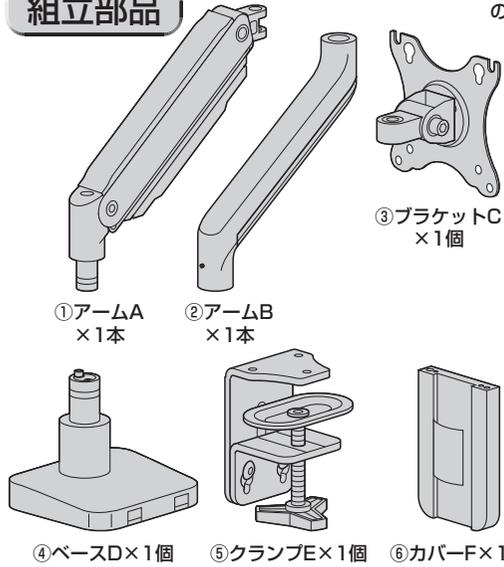
▲注意▲

グロメット固定をする場合に電動ドリルが必要です。ご注意ください。

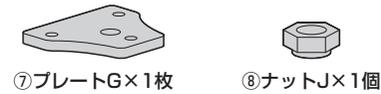
▲注意▲

ディスプレイの取付けに適したボルトの長さは各ディスプレイによって異なります。
必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどをご確認の上、取付けるボルトの長さを決めてください。

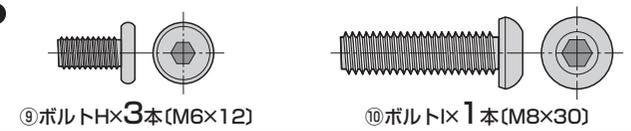
組立部品



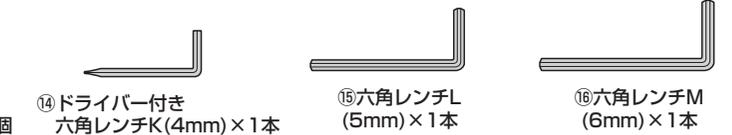
※部品の欠品や破損があった場合は、品番（100-LA061など）と下記の部品番号（①~⑥）と部品名（ナットJなど）をお知らせください。



使用ボルト



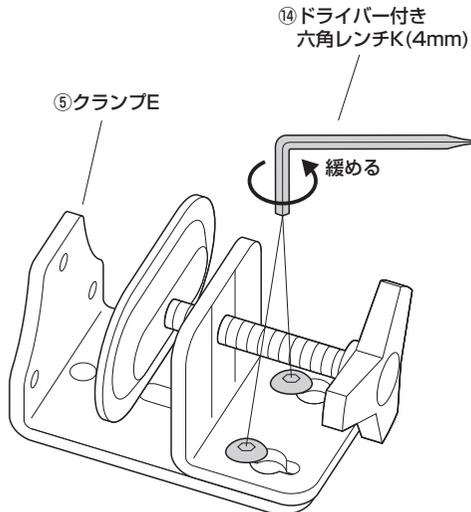
ディスプレイ取付けボルトセット



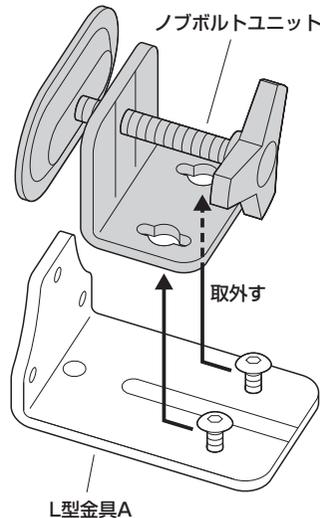
クランプ固定の場合

1 クランプEからノブボルトユニットを外します。

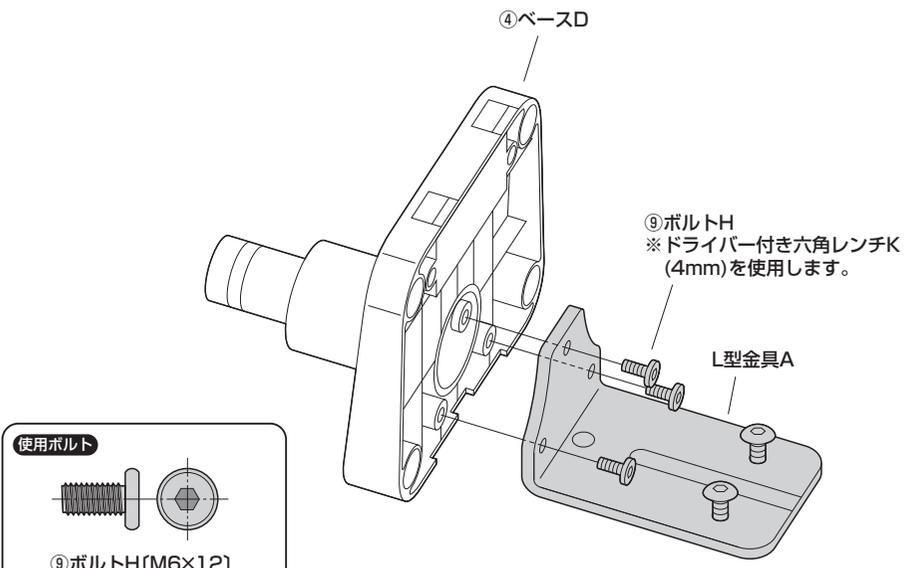
①クランプEのボルトをドライバー付き六角レンチK(4mm)で緩めます。



②L型金具Aからノブボルトユニットを外します。



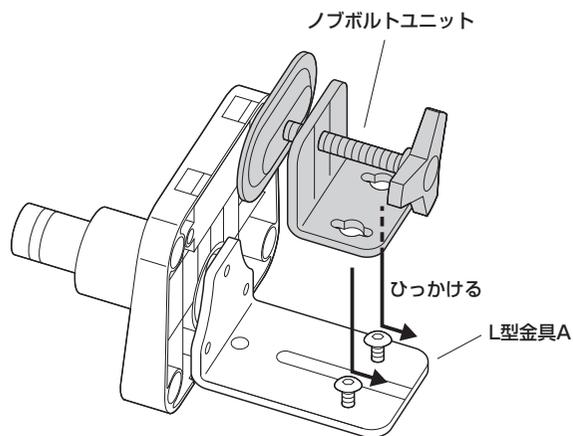
2 ベースDにL型金具Aを取付けます。



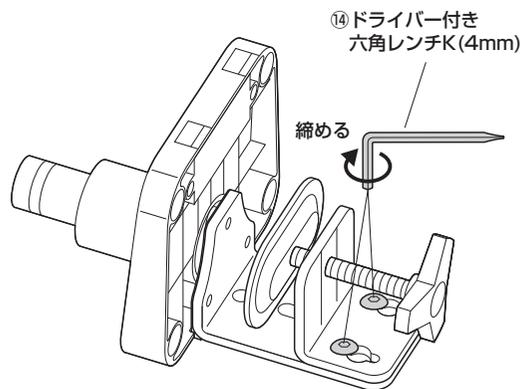
3 L型金具Aにノブボルトユニットを取付けます。

<天板が10~45mmの場合>

① L型金具Aのボルトにノブボルトユニットをひっかけます。

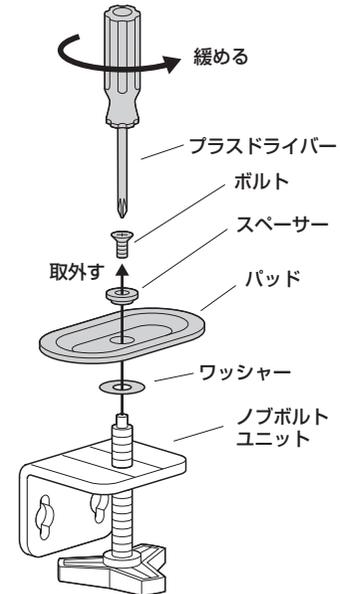


② L型金具のボルトを締め付けて固定します。

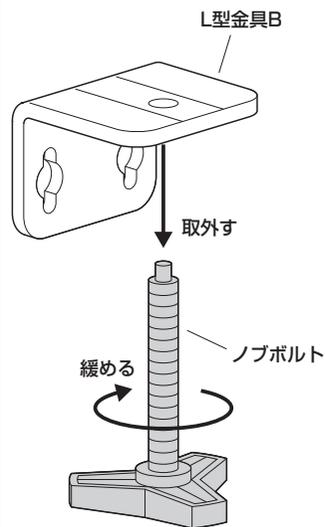


<天板が45~80mmの場合>

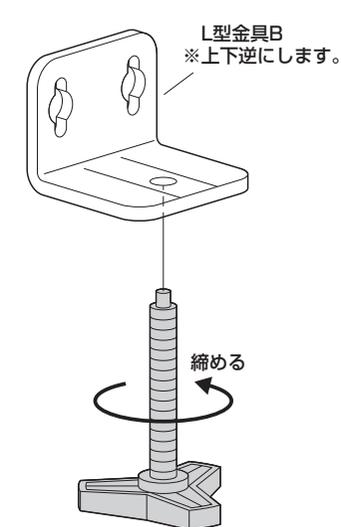
① ノブボルトユニットからボルト、スペーサー、パッド、ワッシャーを取外します。



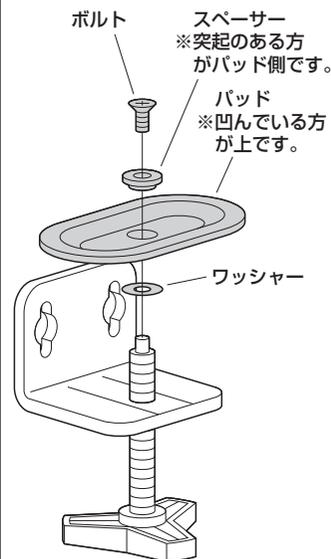
② L型金具Bからノブボルトを取外します。



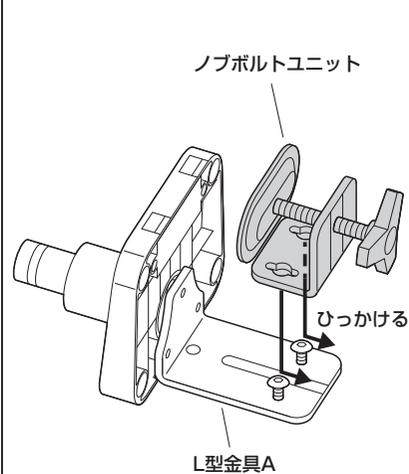
③ L型金具Bの向きを変え、ノブボルトを取付けます。



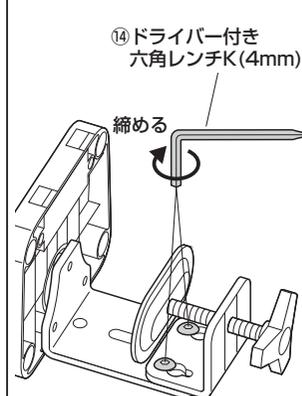
④ ノブボルトにワッシャー、パッド、スペーサー、ボルトを取付けます。



⑤ L型金具Aのボルトにノブボルトユニットをひっかけます。



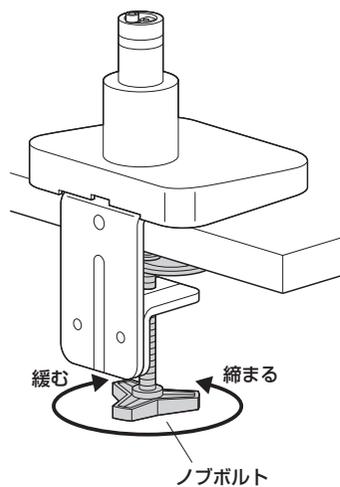
⑥ L型金具のボルトを締め付けて固定します。



クランプ固定の場合(つづき)

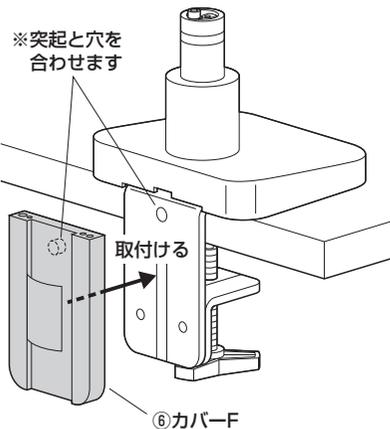
4 クランプEを天板に取付けます。

※クランプEのノブボルトを回して固定します。



5 クランプEにカバーFを取付けます。

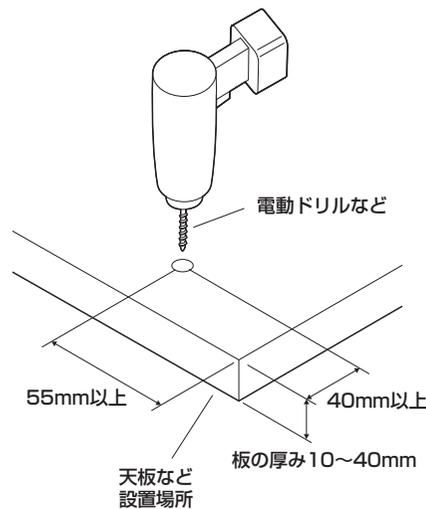
※突起と穴を合わせます



グロメット固定の場合

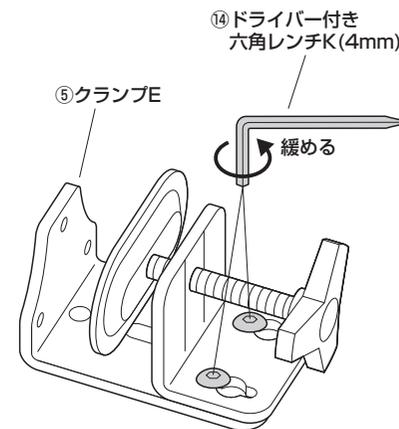
1 本製品を取付ける位置に穴を空けます。

ドリルを使い、 $\Phi 10\text{mm}$ の貫通穴を空けます。

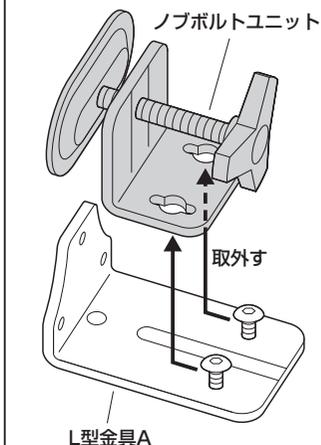


2 クランプEからノブボルトユニットを取外します。

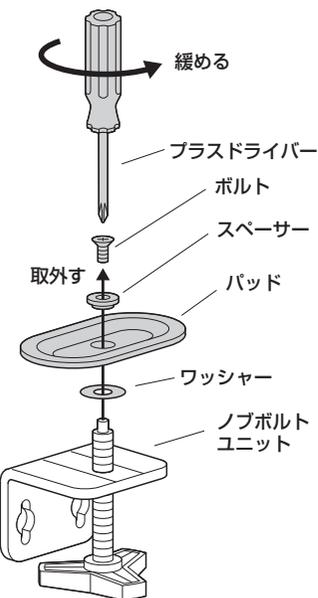
①クランプEのボルトをドライバー付き六角レンチK(4mm)で緩めます。



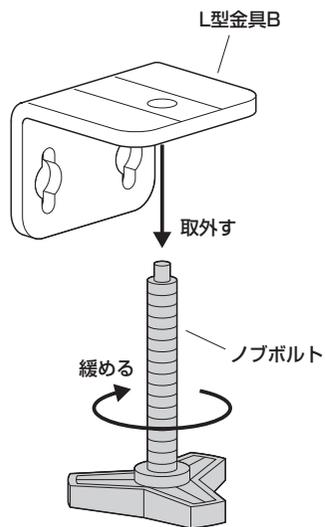
②L型金具Aからノブボルトユニットを取外します。



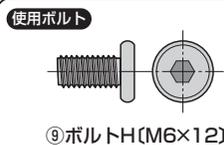
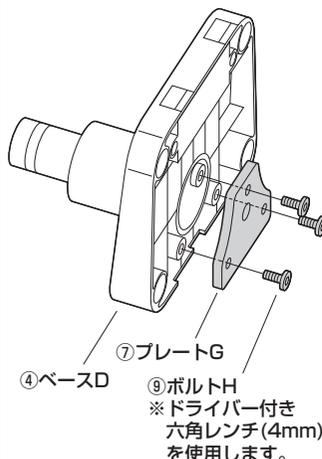
3 ノブボルトユニットからパッド等を取外します。



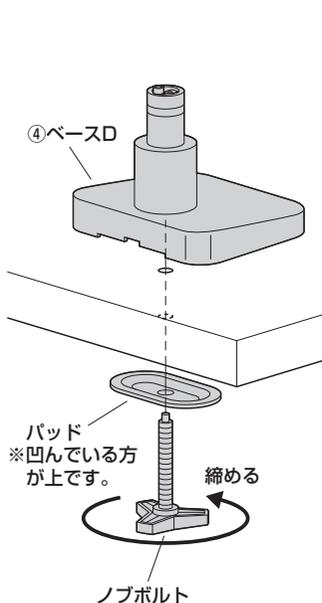
4 L型金具Bからノブボルトを取外します。



5 ベースDにプレートGを取付けます。

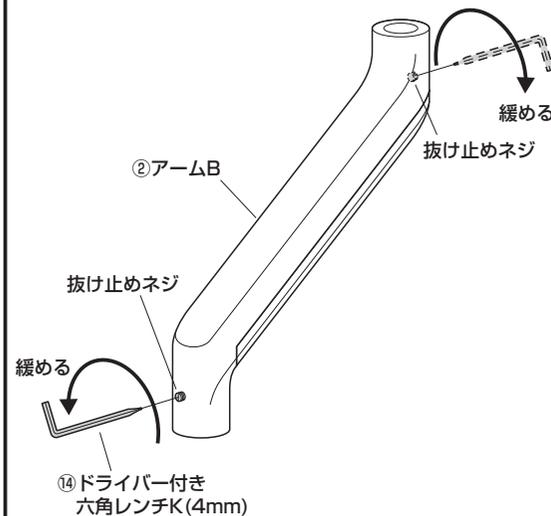


6 天板にベースDを固定します。



以下共通

1 アームBの抜け止めネジを緩めます。



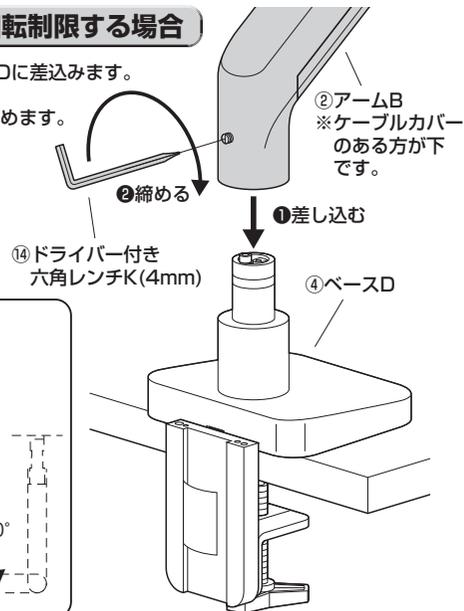
2 ベースDにアームBを取付けます。

※下図はクランプ固定の場合のイラストになっています。

左右90°に回転制限する場合

①アームBをベースDに差し込みます。

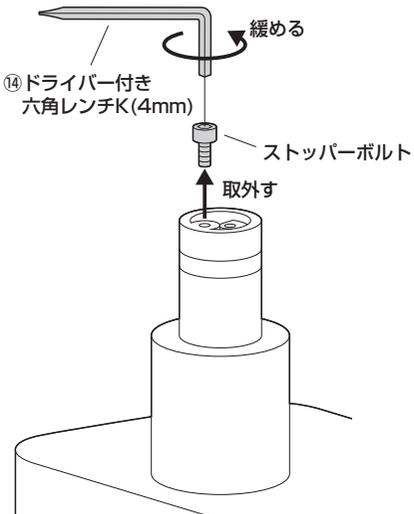
②抜け止めネジを締めます。



回転制限なしの場合

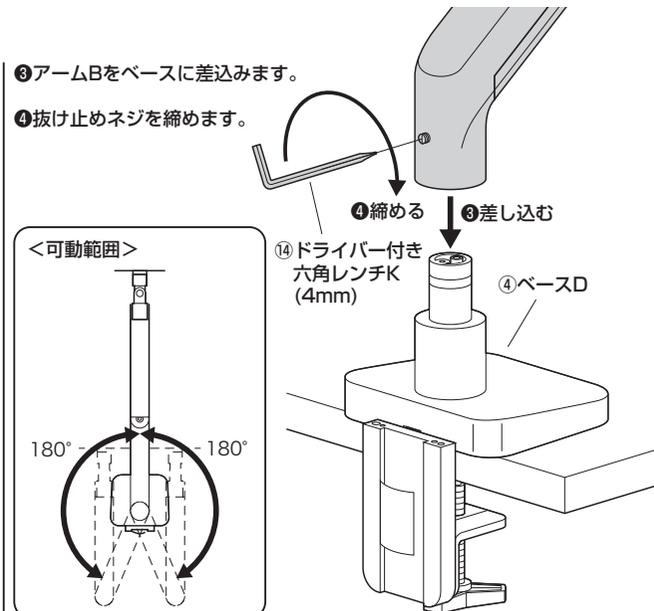
①ベースDのストッパーボルトを取外します。

②ベースDの下図の穴にストッパーボルトを取付けます。



③アームBをベースに差し込みます。

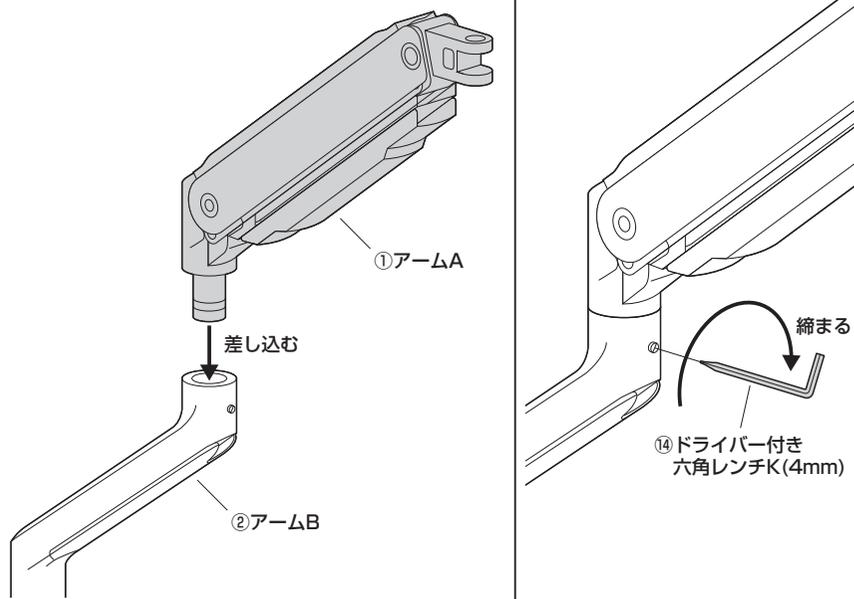
④抜け止めネジを締めます。



3 アームBにアームAを取付けます。

①アームBにアームAを差し込みます。

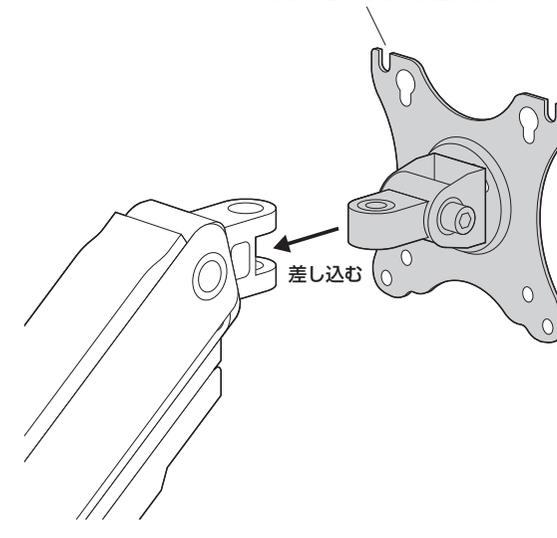
②抜け止めネジを締めます。



4 アームAにブラケットCを取付けます。

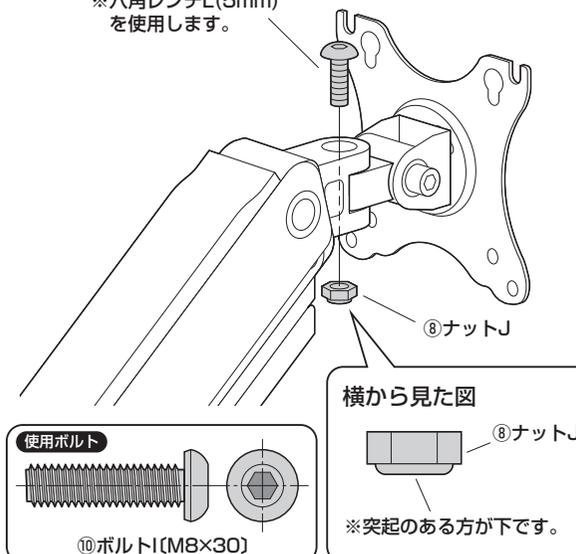
①アームAにブラケットCを差し込みます。

③ブラケットC
※切り欠きのある方が上です。



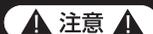
②ボルト、ナットJで固定します。

⑩ボルトI
※六角レンチL(5mm)を使用します。

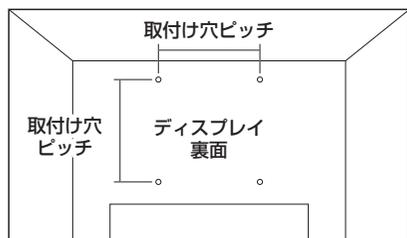


5 ブラケットCにディスプレイを取付けます。

<ディスプレイの取付け穴ピッチを確認します>



ディスプレイに付属しているスタンド類は取外してください。
スタンド類の取外し方法はディスプレイの取扱説明書をご参照ください。



<ボルト選定時の注意点>



ボルトの長さを選ぶ際は、
ブラケットCの厚み+
ワッシャーM-Cの厚みを
加味してください。

ディスプレイ本体

取付け穴断面図

<ボルトの太さ、長さに関する注意>

・ボルトが太すぎたり、長すぎたりするとディスプレイを破損する場合があります。
また、ボルトが短すぎるとディスプレイがしっかりと固定できず脱落する恐れがあります。
取付けに適したボルトの太さ、長さは各ディスプレイによって異なります。
必ずディスプレイの取扱説明書や、メーカーへの問い合わせなどでご確認の上、適切な太さ、長さのボルトを使用してください。
・付属のボルトが合わない場合は、強度に十分ご注意の上、市販の適切な太さ、長さのボルトをご用意ください。

<ねじ穴ピッチ75×75mmの場合>

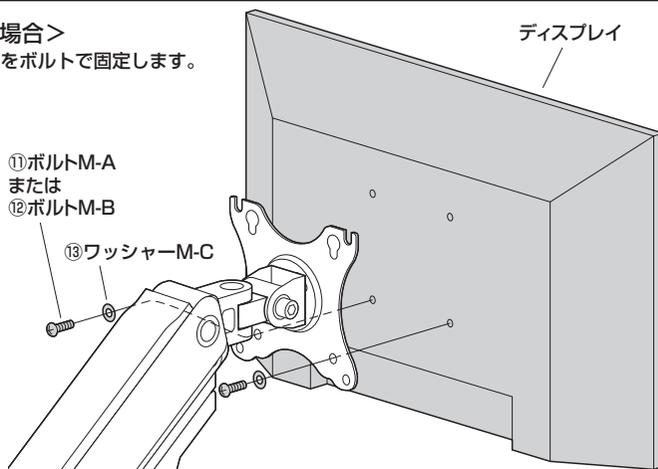
①ディスプレイの下側2カ所のねじ穴をボルトで固定します。



この作業は必ず大人2人以上で行ってください。



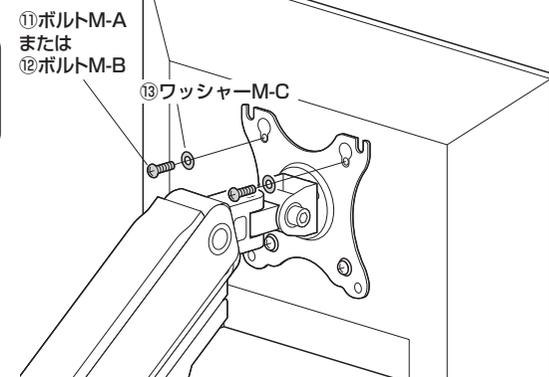
2本のボルトで固定した後もディスプレイを支えたまま、次の作業を行ってください。



②ディスプレイの上側2カ所のねじ穴をボルトで固定します。



この作業は必ず大人2人以上で行ってください。



<ねじ穴ピッチ100×100mmの場合>

①ディスプレイの上側2カ所のねじ穴をボルトで固定します。



毛布などを下に敷き、ディスプレイへの傷や破損に十分ご注意ください。

ボルトはワッシャーM-Cとディスプレイの間に4mm程度のすき間が空くように緩めに付けておきます。

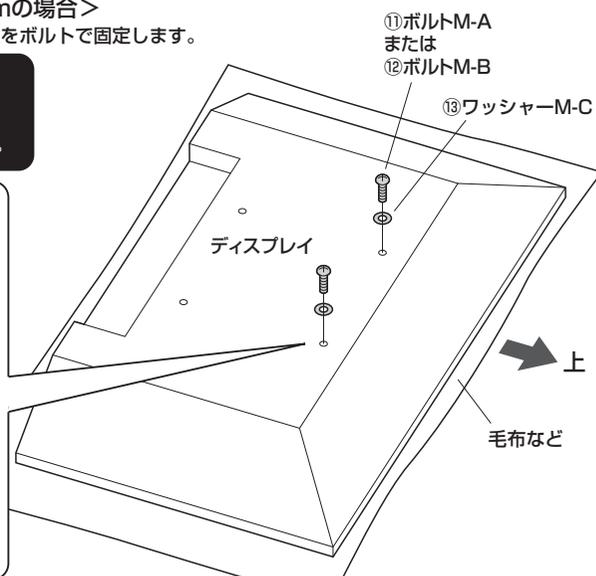
⑪ボルトM-A
または
⑫ボルトM-B

⑬ワッシャーM-C

約4mm

ディスプレイ本体

取付け穴断面図



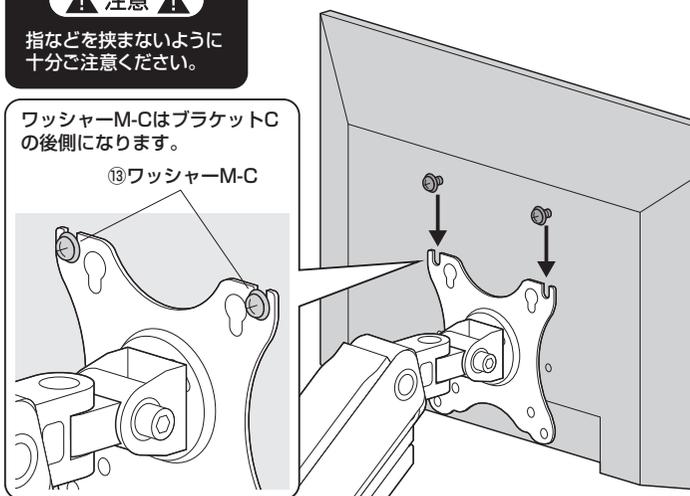
②ブラケットCにボルトをひっかけます。



指などを挟まないように十分ご注意ください。

ワッシャーM-CはブラケットCの後側になります。

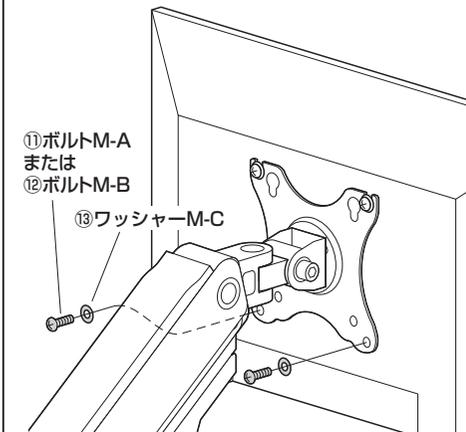
⑬ワッシャーM-C



③下側2箇所をボルトで固定します。

⑪ボルトM-A
または
⑫ボルトM-B

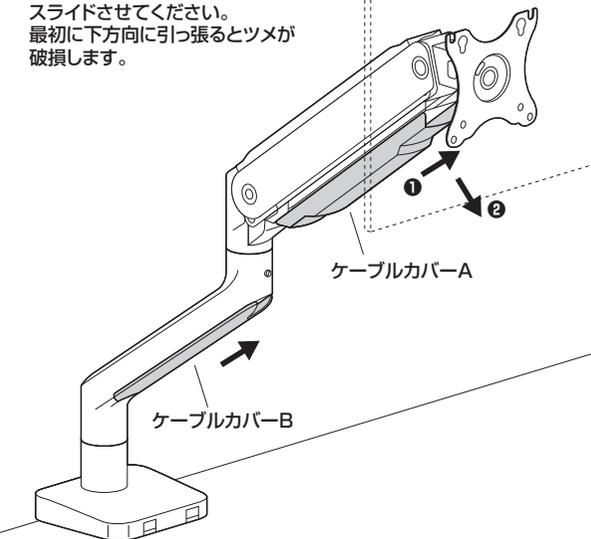
⑬ワッシャーM-C



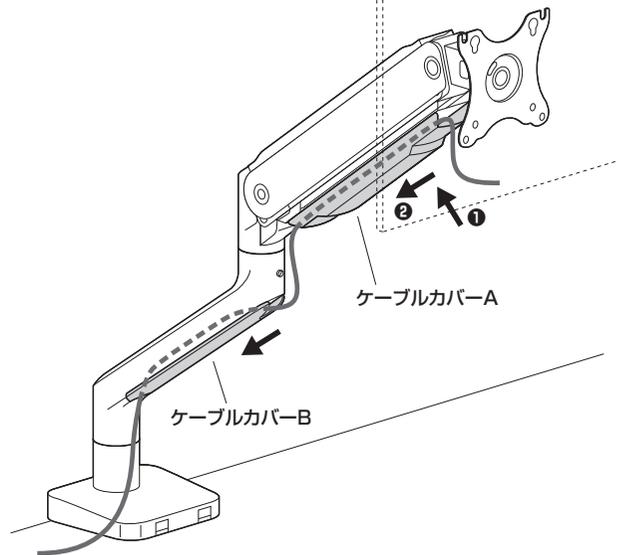
最後に全てのボルトをしっかりと締め付けます。

6 ケーブルを通して完成です。

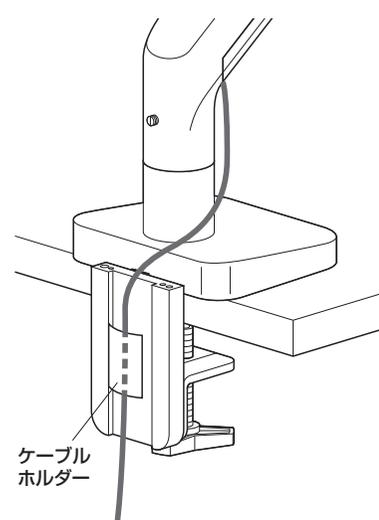
- (1) ケーブルカバーを矢印の方向にスライドさせて取外します。
 ※ケーブルカバーAは必ず最初にスライドさせてください。最初に下方向に引っ張るとツメが破損します。



- (2) ケーブルを通して、ケーブルカバーを矢印の方向にスライドさせて取付けます。



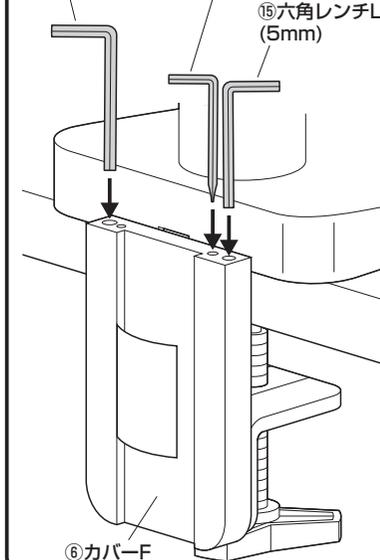
- (3) クランプ固定の場合はクランプのケーブルホルダーにケーブルを通します。
 ※グロメット固定の場合はこの作業は不要です。



六角レンチの収納方法

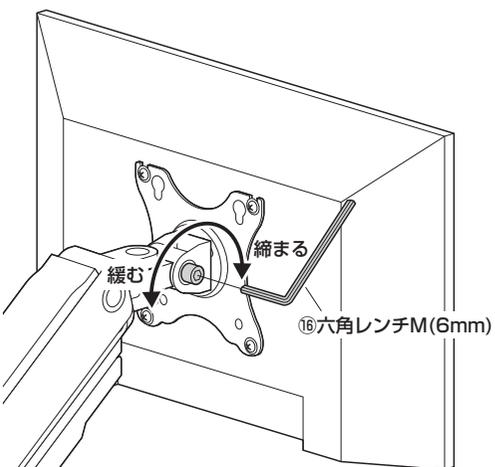
カバーFの穴に六角レンチを収納できます。

- ⑯六角レンチM (6mm) ⑭ドライバー付き六角レンチK (4mm)
 ⑮六角レンチL (5mm)



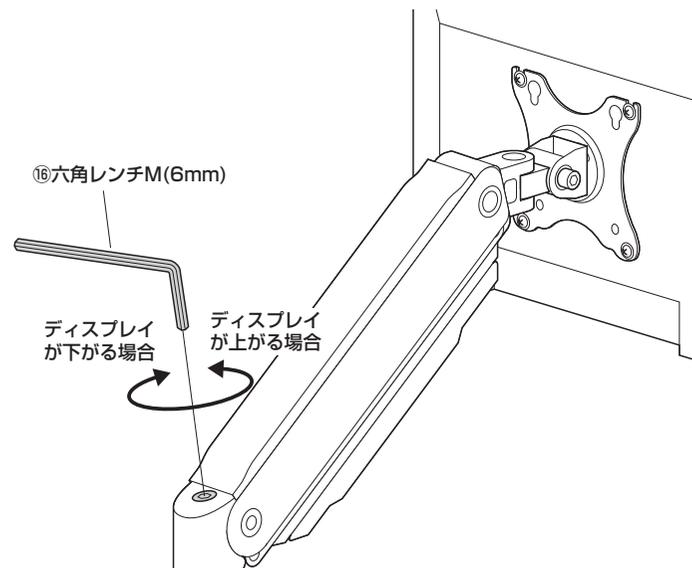
ディスプレイの傾きの調節方法

ディスプレイが下方向に向き、角度を保てない場合は下図のボルトを締めます。



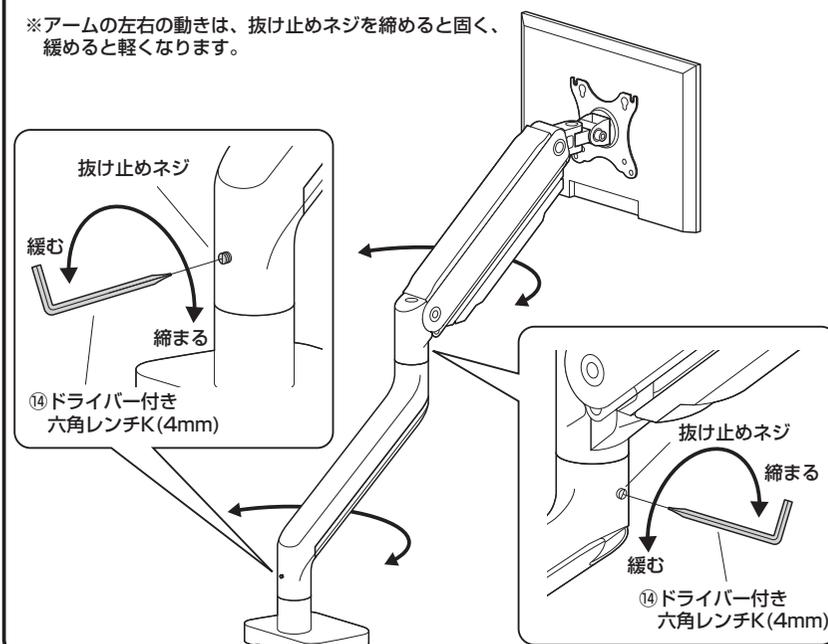
アームの保持力の調節方法

ディスプレイの重さとアームの保持力がつり合うように下図のボルトで調節します。



アームの左右の動きの調節方法

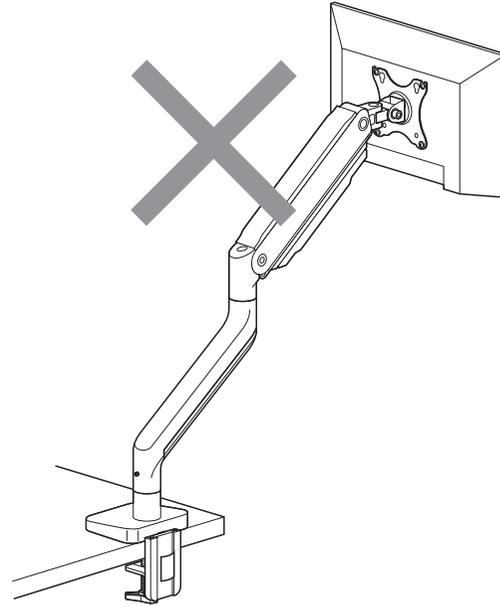
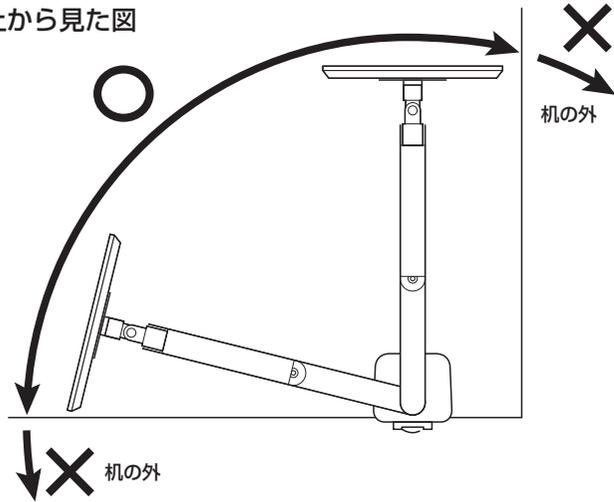
※アームの左右の動きは、抜け止めネジを締めると固く、緩めると軽くなります。



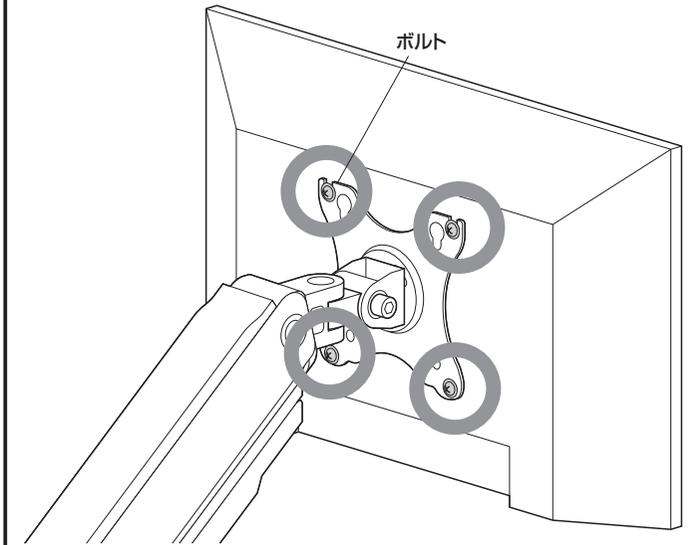
安全の為に注意していただく点

落下する恐れがあるので、天板の外にディスプレイが出る状態での使用はさけてください。

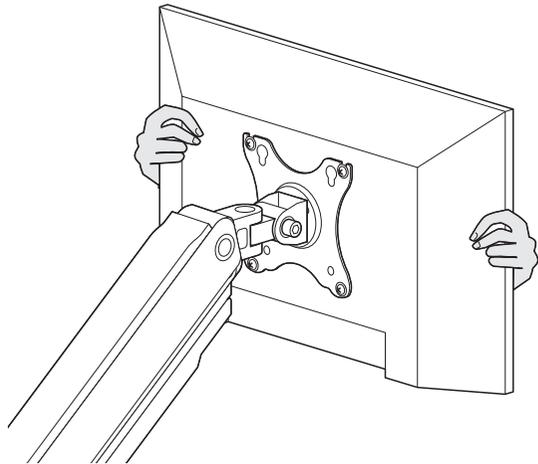
上から見た図



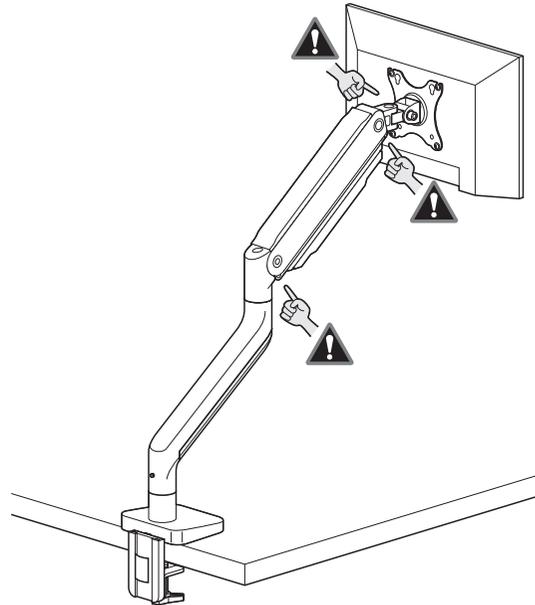
ディスプレイは4本のボルトでしっかりと固定してください。



ディスプレイの調整は必ず両手で行い、片手での使用はおやめください。



可動部分で指をはさまないように注意してください。



その他

- 27型より大きいディスプレイは取付けしないでください。
- 2～13kg以外の機器は取付けしないでください。
- アーム部に物を置かないでください。
- 本製品を振動のある場所に設置しないでください。
- 用途以外で使用しないでください。
- 部品が外れたままで使用しないでください。
- ボルト・ネジ類がゆるんだまま使用しないでください。
- 本製品を分解・修理・加工・改造はしないでください。
- 本製品に強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。
- 本製品を高温・多湿となる場所や、ホコリや静電気、油煙の多い場所で使用・保管しないでください。
- 本製品を水などの液体で濡らさないでください。また、濡れた手で触れないでください。
- お子様には本製品や付属品を触れさせないでください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた事故や直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。あらかじめご了承ください。

以上の点に注意して取扱ってください。

各部の可動範囲

※天板の外にディスプレイが出る状態では使用しないでください。

